※令和３年度以前入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	地学基礎　第一学習社						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科学と私達の生活は密接な関わりを持っています。地学基礎は科学の中でも地球や地球を取り巻く宇宙について学ぶ教科です。私達の身近にある天体、宇宙や防災に関するニュース等を題材に地学について学び、科学全般に興味を持って欲しいと考えています。また、授業では、地学に関する基礎知識を身につけるとともに、実験や実習、グループワークを通して自然現象や科学について、実感をもって理解できるようになることをめざします。

２　学習の到達目標

身近な自然現象を題材に取り上げ、科学的な思考力を養う。
それとともに、科学的に自然を理解する態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	授業に集中し、指示内容を聞き、配布物の自己管理ができるように努める。配布物（プリント・レポート）の整理を習慣づけることで、学習意欲を向上させる。	模型や映像及び教員の授業内容についての雑談などから、知的な想像力を養い、短文で課題に対して取り組めることができる力を養う。	岩石の模型などに実際に触れ、ルーペで観察させることで、それぞれの特徴を認識し、理解を深めさせる。	毎回の授業内容をレポート課題などで、整理し、次回の授業の理解に結び付けることができるようにする。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物	・授業態度 ・実習中の態度	・実習中の態度 ・提出物 ・定期考査	・問題プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	宇宙における地球	太陽系の誕生と星の種類	○			○	a：授業の内容を記録し、まとめる習慣をつけさせる。 b：映像や話の内容から創造力を養わせ、疑問点を追及させる。 c：地球の内部構造を理解し、ノートなどにまとめさせる。 d：太陽系の星の種類や地球の内部構造についての知識をプリント及びレポートで整理させ、知識を整理させる。	学習状況 ノート プリント 観察・意欲 定期考査 出席日数
		地球の姿		○	○			
		惑星・準惑星・小惑星の分類	○			○		
		地球内部の層構造のしくみ		○		○		
後期	地球の層構造の仕組み	火山の種類と岩石の種類			○	○	a：授業内容に関する映像や図を見せながら解説を行い、関心を持たせる。 b：岩石の模型を見ながら、その岩石が形成された環境を考えさせる。 c：岩石の模型を触らせ、ルーペなどで観察させ、特徴をつかませることで、地層の構造の理解を深めさせる。 d：レポートに内容をまとめさせ、複雑な分野の整理をさせることで、知識を深めさせる。	学習状況 ノート プリント 観察・意欲 定期考査 出席日数
		地層の形成・分類 堆積岩・変成岩		○	○			
		地質時代の区分	○			○		
		対流圏での天気の変化			○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。